2010年3月期　決算説明会

2010年5月17日

わたしたちは健康と
豊かな食生活を提供します

証券コード4526

理研ビタミン株式会社

www.rikenvitamin.jp

Riken Vitamin

本日の内容

1. 開会

2. 2010/3月期　決算の概要

取締役　経営企画部長　堀井 滋

3. 新中期経営計画の達成に向けて
2011/3月期　事業計画（戦略と施策）

代表取締役社長　堺 美保

4. 質疑応答

5. 閉会

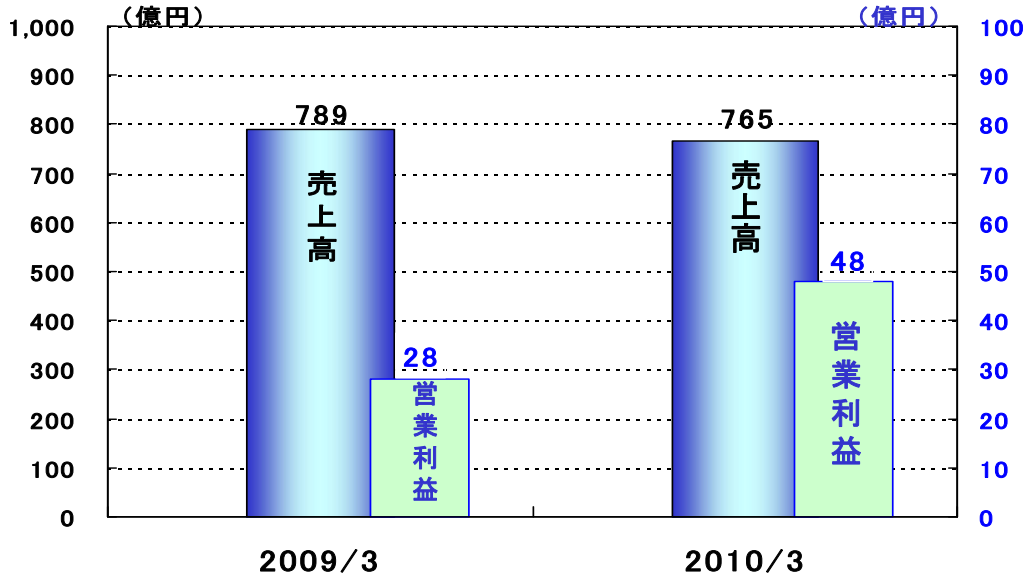
2010/3月期　決算の概要

取締役　経営企画部長　堀井　滋

2010/3月期　決算ハイライト （連結）

単位：億円、％

	2009/3月期		2010/3月期		前年同期比較	
	実績	対売上比	実績	対売上比	増減額	伸び率
売　上　高	789	—	765	—	△23	97.0
粗　利　益	219	27.8	236	30.9	＋17	107.9
販　管　費	190	24.2	187	24.6	△2	98.6
営 業 利 益	28	3.6	48	6.3	＋19	169.9
経 常 利 益	26	3.4	49	6.5	＋22	185.9
純　利　益	15	1.9	25	3.4	＋10	171.2



売上高の増減明細（上下期）

上期(4～9月)	下期(10～3月)
△26	＋3

売上高の国内外別増減明細（下期）

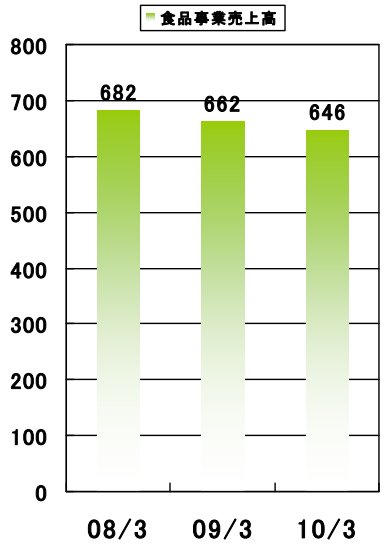
国内	海外
△5	＋8

セグメント、部門別売上高（連結）

単位：億円、％

セグメント	部　門	2009/3月期	構成比	2010/3月期	構成比	増減額	伸び率
食品事業		662	84.0	646	84.4	△16	97.5
	家庭用食品	172	21.9	168	22.0	△4	97.6
	業務用食品	113	14.3	111	14.6	△1	98.8
	加工食品用原料	168	21.4	162	21.3	△6	96.4
	食品用改良剤	207	26.4	203	26.5	△4	97.7
化成品事業		64	8.2	63	8.4	△0	98.7
ビタミン・その他事業		61	7.8	54	7.2	△6	89.4
合　　計		789	100.0	765	100.0	△23	97.0

セグメント別増減 「食品事業」



家庭用食品　［前期差△4.1億円　／　前期比97.6%］

生活防衛意識の高まり　⇒　低価格志向

- ◆ わかめ　・・・・・　△3.0億円　◇ふえるわかめ(乾燥わかめ)、中国産回復⇒売上増
  ◇生わかめ販売終了(09/3)⇒売上減
- ◆ 素材力　・・・・・　△0.1億円　◇増量キャンペーン⇒前期並の売上確保
- ◆ ドレッシング　・・・・・　△0.4億円　◇新商品「シーザーサラダ」上市　◇「青じそ」の落ち込み
  ◇ブランド「リケンのノンオイル」に一新

業務用食品　［前期差△1.4億円　／　前期比98.8%］

- ◆ わかめ　・・・・・　△2.3億円　◇全体では前期を下回る売上となるも、乾燥わかめは伸長
- ◆ ドレッシング　・・・・・　＋1.5億円　◇「野菜いっぱい」シリーズの好調

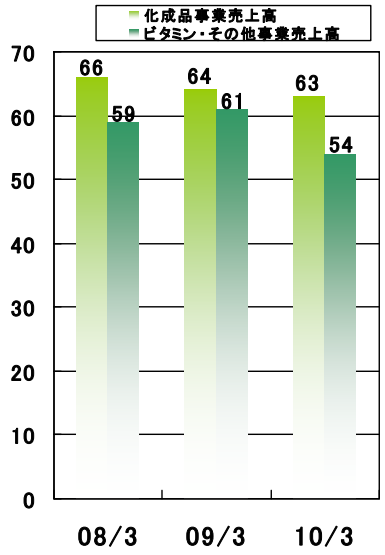
加工食品用原料　［前期差△6.0億円　／　前期比96.4%］

- ◆ 青島福生食品　・・・・・　△5.3億円　欧米向けの「水産加工品」の大幅減少
  ＋5.2億円　中国国内向けの「冷凍野菜」の伸張
- ◆ 天津　・・・・・　△1.6億円　国内向けの餡製品の縮小
- ◆ その他　・・・・・　△1.3億円　弁当惣菜向けの「液体調味料」の販売見直し

食品用改良剤　［前期差△4.8億円　／　前期比97.7%］

- ◆ 国内市場　・・・・・　＋3.5億円　油脂業界・豆腐業界への販売が好調に推移
- ◆ 海外市場　・・・・・　△8.3億円　欧州・アジア地域の販売不振と為替円高の影響で減少

セグメント別増減 「化成品事業」、「ビタミン・その他事業」



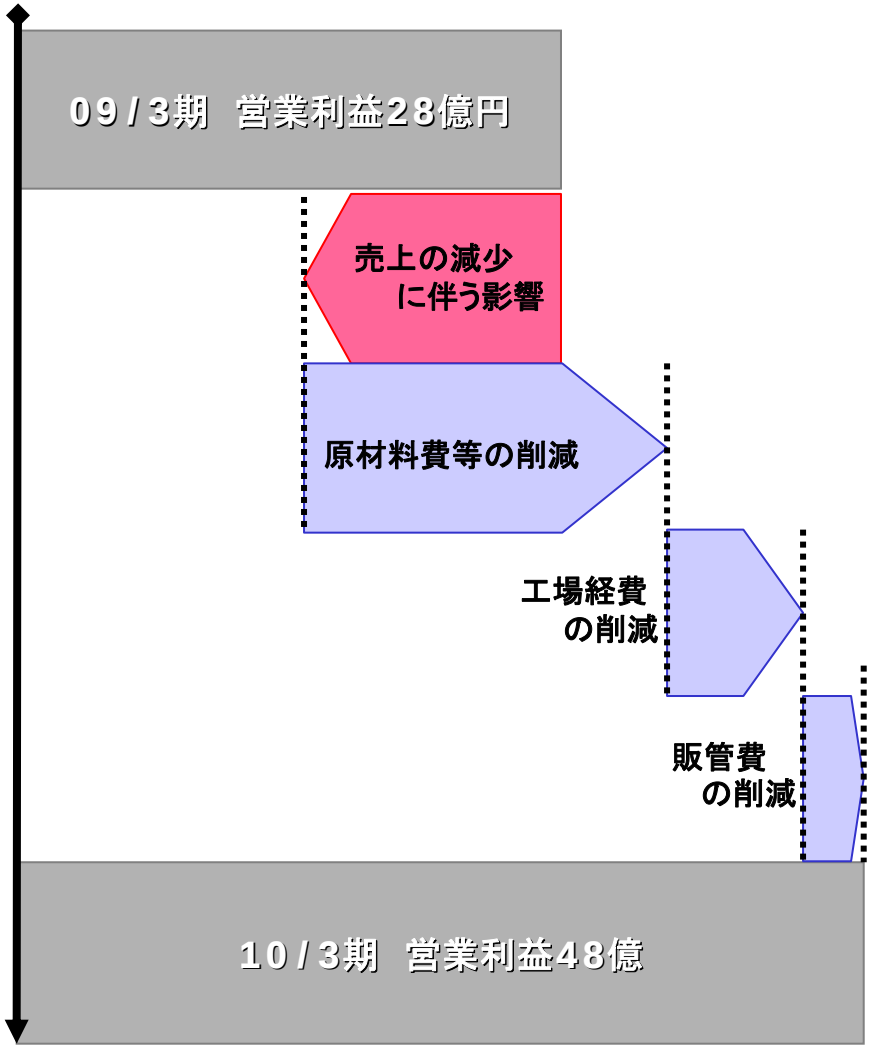
化成品事業　［前期差△0.8億円　／　前期比98.7%］

- ◆ 国内市場 ・・・・・ △0.3億円　デジタル家電・自動車部品向けは好調も、農業用ハウス向けなどが低迷
- ◆ 海外市場 ・・・・・ △0.5億円　上半期は大幅に落ち込んだものの、下半期は上向く

ビタミン・その他事業　［前期差△6.5億円　／　前期比89.4%］

- ◆ ビタミン ・・・・・ △1.9億円　食品用ビタミン製品の減少
- ◆ 電子精密部品 その他 ・・・・・ △4.6億円　健正堂による電子精密部品の製造・販売の終了（10/3より化成品事業の製造会社に転換）

営業利益の増減要因分析



△ 23億円 → 家庭用「生わかめ」の終売
海外向け食品用改良剤の減少
餡事業の縮小
健正堂の事業転換

＋34億円 → 不採算事業の見直し
原材料費の削減

粗利率の改善

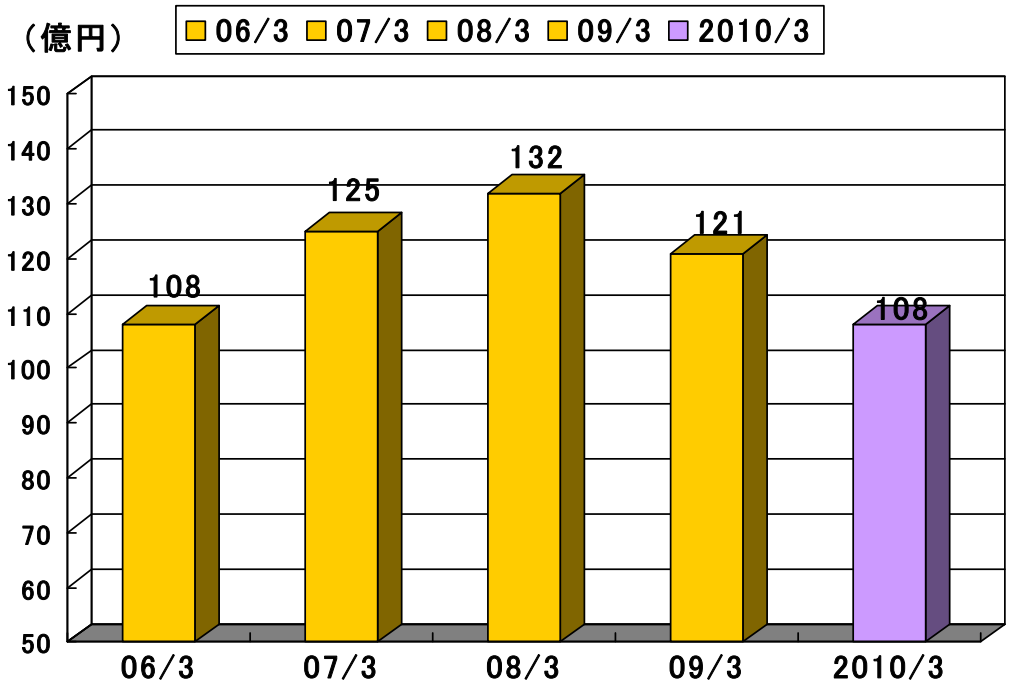
＋6億円 → 工場経費（エネルギー費など）の削減

＋2億円 → 物流費をはじめとした販管費の削減

海外売上高の状況

単位:億円、%

	2008/3期			2009/3期			2010/3期		
	欧米	アジア他	計	欧米	アジア他	計	欧米	アジア他	計
売上高	77	55	132	66	54	121	55	53	108
連結売上高に占める割合	9.6	6.8	16.4	8.4	7.0	15.4	7.2	7.0	14.2



貸借対照表の主な増減科目（連結）

単位：億円、％

資産の部			
科　目	09/3	2010/3	増減
流動資産	449	487	+38.3
受取手形及び売掛金	176	179	＋3.6
固定資産	352	352	+0.8
有形固定資産	240	232	△8.4
無形固定資産	8	8	△0.1
投資その他	102	112	+9.3
合　計	801	840	+39.1

【流動資産】
・現金及び預金　＋24.2
・たな卸資産　＋12.0

【固定資産（投資その他）】
・投資有価証券　＋13.2

貸借対照表の主な増減科目（連結）

単位：億円、％

負債・純資産の部			
科　目	09/3	2010/3	増減
流動負債	201	228	+26.8
支払手形及び買掛金	79	79	△0.6
短期借入金	64	75	+10.9
固定負債	41	49	+7.3
長期借入金	11	9	△1.8
繰延税金負債	11	16	+5.1
負債合計	243	277	+34.1
純資産合計	557	562	+5.0
合　計	801	840	+39.1

【流動負債】
・未払法人税等　＋7.5

【固定負債】
・退職給付引当金　＋3.8

【純資産】
・利益剰余金　＋17.7
・自己株式の取得　△25.1
・評価・換算差額等　＋12.2

キャッシュフローの状況（連結）

単位：億円、％

	09/3	2010/3	前年増減
営業活動による キャッシュ・フロー	47	60	+12.4
投資活動による キャッシュ・フロー	△24	△17	+7.6
財務活動による キャッシュ・フロー	△5	△25	△19.3
現金及び現金同等物の 期末残高	114	133	+18.1

【営業活動】
・税金等調整前当期純利益
＋17.7

【投資活動】
・投資有価証券売却
による収入＋10.1

【財務活動】
・自己株式の取得
△25.1

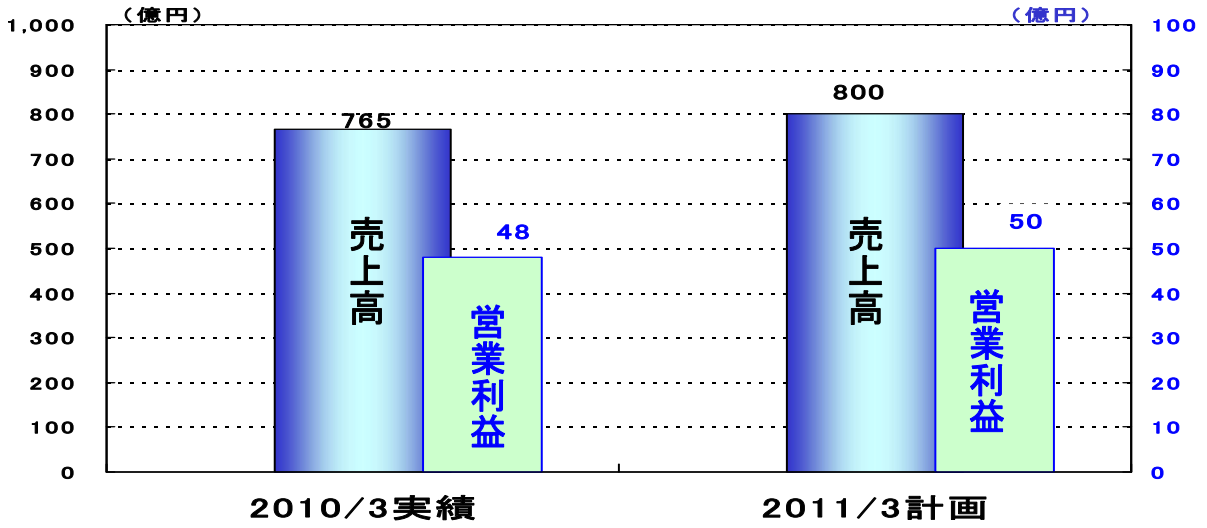
新中期経営計画の達成に向けて
2011/3月期　事業計画（戦略と施策）

代表取締役社長　堺　美保

2011/3月期　事業計画（連結）

（億円未満切捨て）

	2010/3月期		2011/3月期		
	（億円）	対売上比（%）	（億円）	対売上比（%）	前期比（%）
売上高	765	―	800	―	104.5
粗利益	236	30.9	250	31.3	105.7
販管費	187	24.6	200	25.0	106.4
営業利益	48	6.3	50	6.3	103.0
経常利益	49	6.5	50	6.3	100.9
当期純利益	25	3.4	27	3.4	104.5



セグメント別売上計画（連結）

（億円未満切捨て）

売上高 セグメント	部　門	2010/3期（億円）	構成比（%）	2011/3期（億円）	構成比（%）	前期比（%）
食品事業		646	84.4	678	84.7	104.9
	家庭用食品	168	22.0	174	21.8	103.2
	業務用食品	111	14.6	114	14.3	102.0
	加工食品用原料	162	21.3	177	22.1	108.6
	食品用改良剤	203	26.5	213	26.6	104.9
化成品事業		63	8.4	67	8.4	104.8
ビタミン・その他事業		54	7.2	55	6.9	100.0
合　　計		765	100.0	800	100.0	104.5

新中期経営計画の進捗状況

＜実績および予想＞

（億円未満切捨て）

（億円）	10/3期実績	11/3期予想
売上高	765	800
粗利益	236	250
営業利益	48	50
経常利益	49	50
当期純利益	25	27

＜当初計画＞

10/3期計画	11/3期計画	12/3期計画
805	825	850
232	243	255
38	43	51
37	43	51
22	27	34

≪2011年3月期・業績予想≫

売上高は当初計画を下回るも、
粗利益・営業利益・経常利益は
当初計画を上回る。
当期純利益も当初計画額を確保。

2011年3月期予想 － 当初計画 比較

◇売上高 ⇒ △25億円

◇営業利益 ⇒ ＋7億円

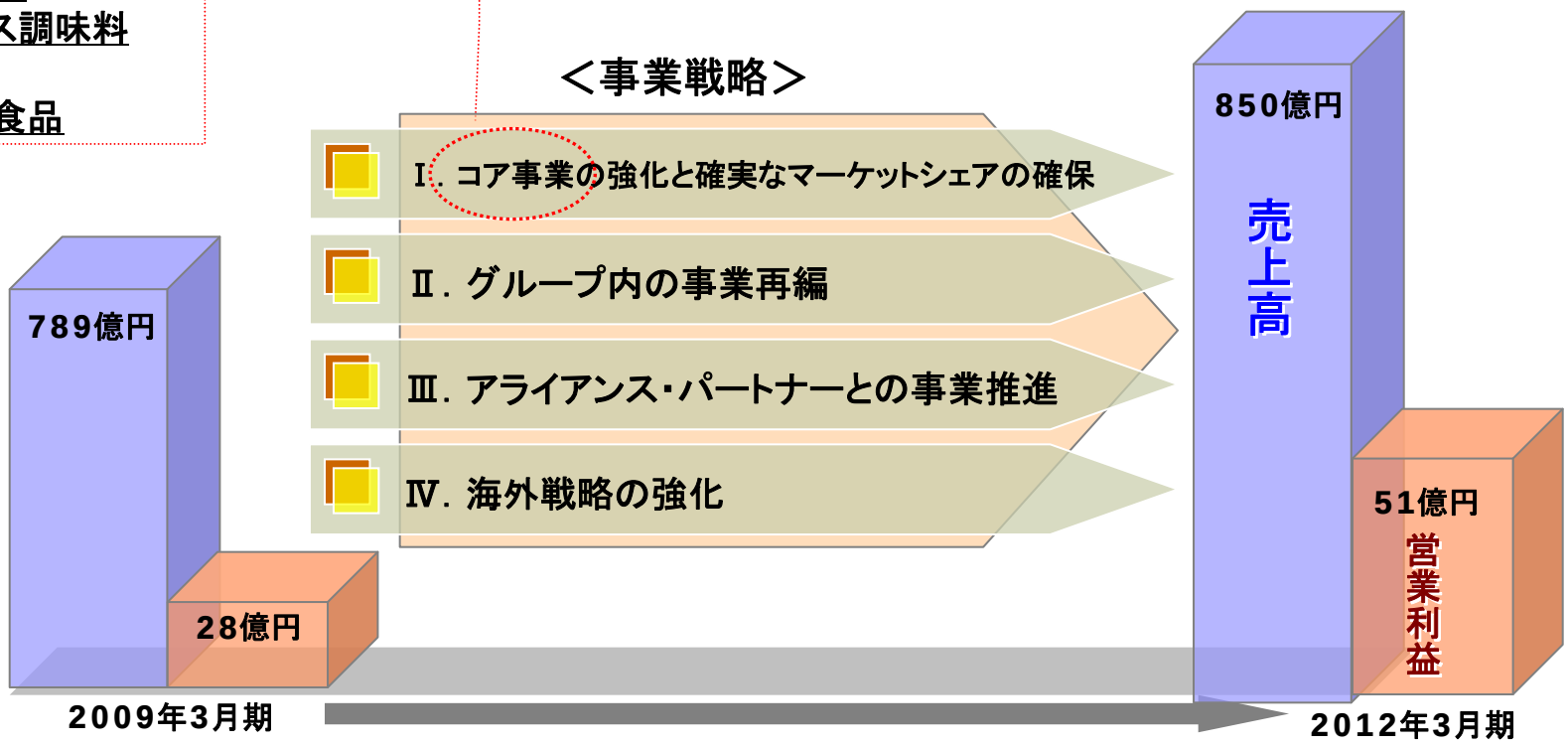
◇経常利益 ⇒ ＋7億円

◇当期純利益 ⇒ 中期計画通り

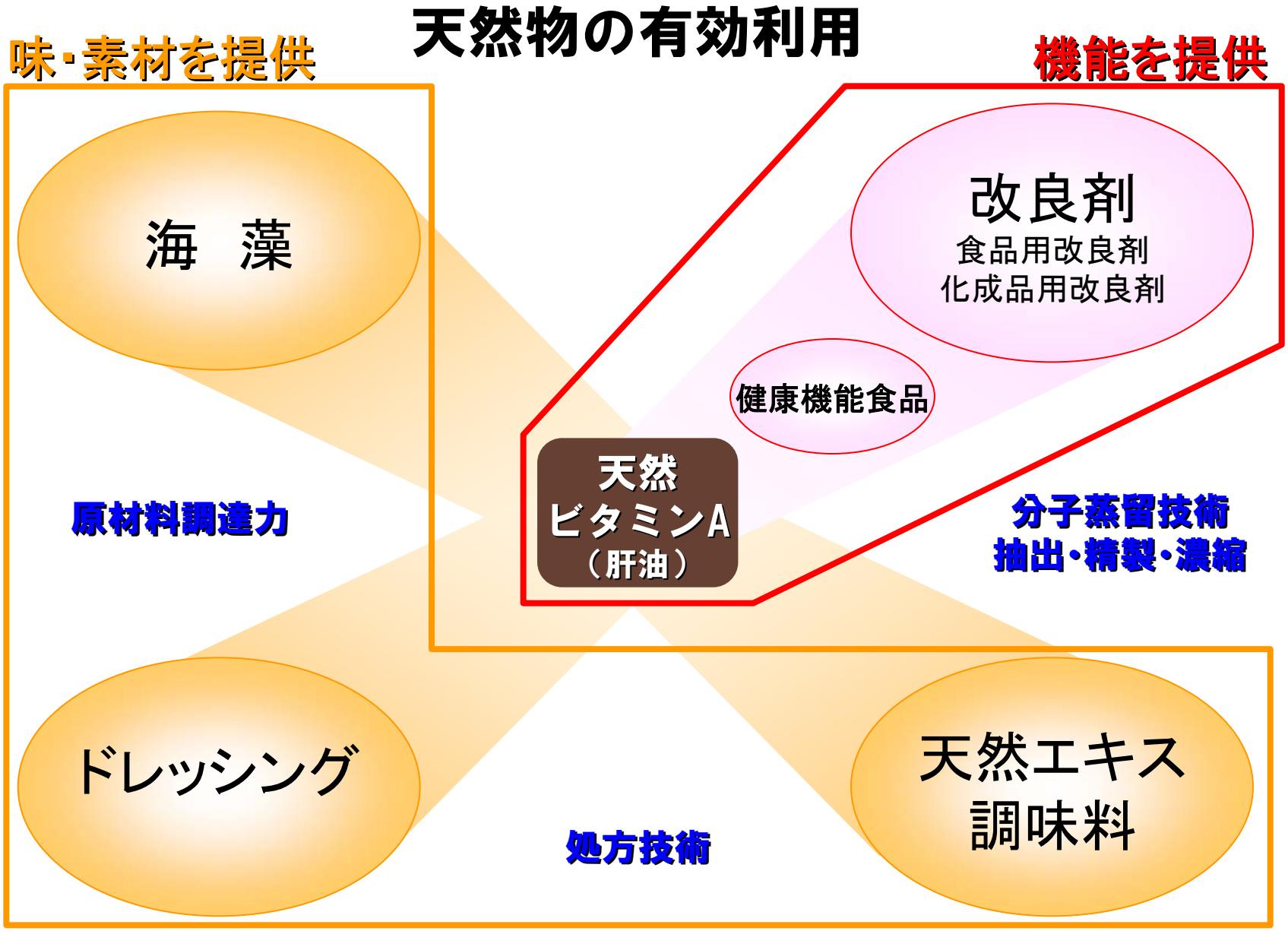
事業戦略の進捗状況　－　4つの事業戦略

4つの事業戦略を実行することにより、売上高850億円、営業利益51億円を達成する

◇海　藻
◇ドレッシング
◇天然エキス調味料
◇改良剤
◇健康機能食品



事業戦略の進捗状況(Ⅰ) ― コア事業の内容



事業戦略の進捗状況(Ⅰ) ― コア事業別 実績と目標値

海　藻

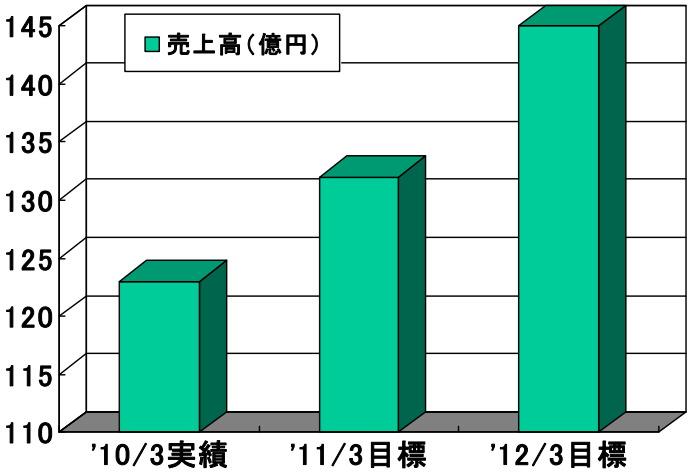
わかめNO.１企業として、
更なる充実と拡大へ！

◎強いカテゴリーをより強く！
- ◇ふえるわかめちゃん
- ◇花ざいく（業務用カットわかめ）
- ◇わかめスープ

中国産カットわかめ
消費回復

【事業見直し】
家庭用・生わかめ終売

売上高目標
’10/3期123億円
⇒’12/3期145億円へ



事業戦略の進捗状況(Ⅰ) ― コア事業別 実績と目標値

ドレッシング

◎ ***強いカテゴリーをより強く！***

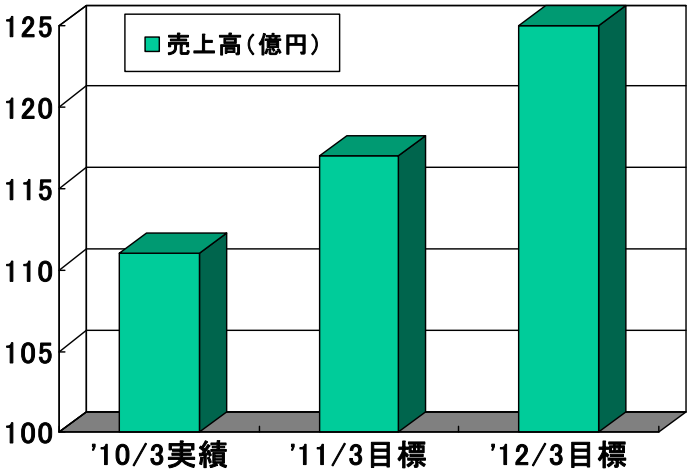
◇**特長を活かした商品開発**

◇(家庭用商品)**ブランド名を一新**

おいしい！に欲ばり ……› メインスローガン

リケンのノンオイル ……› 新ブランド

売上高目標
'10/3期111億円
⇒'12/3期125億円へ



事業戦略の進捗状況(Ⅰ) ― コア事業別 実績と目標値

天然エキス
調味料

◇ポークエキス事業の確立

（外食・加工食品分野への販売強化）

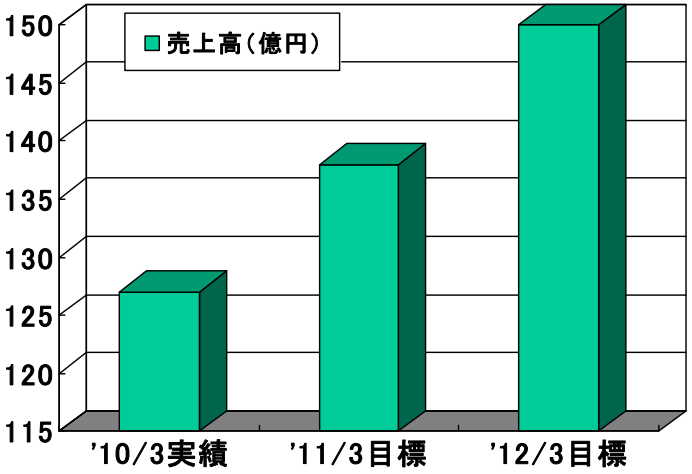
◇複合天然エキス調味料事業の拡大

(素材力 等)

◇水産エキス事業のさらなる発展

（ほたて・鰹・魚醤・昆布）

売上高目標
’10/3期127億円
⇒’12/3期150億円へ



事業戦略の進捗状況(Ⅰ) ― コア事業別 実績と目標値

改良剤
食品用改良剤
化成品用改良剤

◇**成長市場でのシェア拡大**

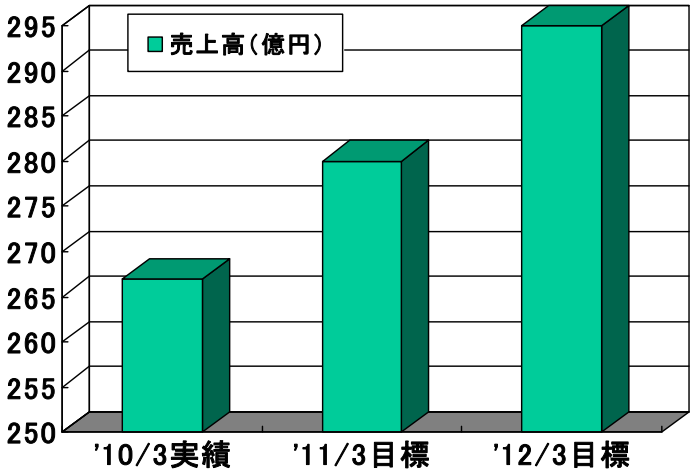
◇**顧客ニーズに適応した新商品**

アジア市場への深耕

アプリケーションセンターの機動的活用

（シンガポール・天津・草加）

売上高目標
’10/3期267億円
⇒’12/3期295億円へ



事業戦略の進捗状況(Ⅰ) ー コア事業別 実績と目標値

健康機能食品

◇ビーズ製品の拡大

（医薬・食品用 球状粒子製品）

◇クロセチン、メカブフコイダン、
海藻ポリフェノールの拡販

◇新機能性素材の開発＆新規訴求への取組み

◇通販事業の軌道化（サポートプラスシリーズ）

売上高目標（健康機能食品）
’10/3期7.5億円
⇒’12/3期15億円へ

事業戦略の進捗状況(Ⅱ) ― グループ内 事業再編

グループ内の事業再編

(1) 成長分野での事業拡大
(2) 収益改善を要する分野への適切な対応

成長カテゴリーを見極めたパワーの投入

健正堂 ： 電子精密部品事業 ⇒ 化成品事業へ転換

〔 2010年3月 完 了 〕

餡事業 ： 縮小の方向へ 〔 2009年スタート(現在進行中) 〕

天津理研維他食品 ： 改良剤事業の工場として再構築

進和食品 ： 生わかめ ⇒ 調味料工場へ

〔 2009年3月 完 了 〕

事業戦略の進捗状況(Ⅲ)ー　アライアンス・パートナーとの事業推進

08/6月　キッコーマン(株)と
資本・業務提携

08/7月　提携推進委員会発足

09/7月　「からだのチカラ」発売

09/8月　物流拠点運営を「総武物流」
(キッコーマン子会社)に切替え

09/10月　キッコーマン販売ルートを
活用した海外展開開始

事業戦略の進捗状況(Ⅳ)　－　海外戦略の強化

改良剤分野での更なる強化
（食品／化成品）

インド（駐在員事務所開設）

中国市場への取り組み強化

◇天津：製餡事業⇒改良剤事業の拡大へ

マレーシア工場 生産能力UP

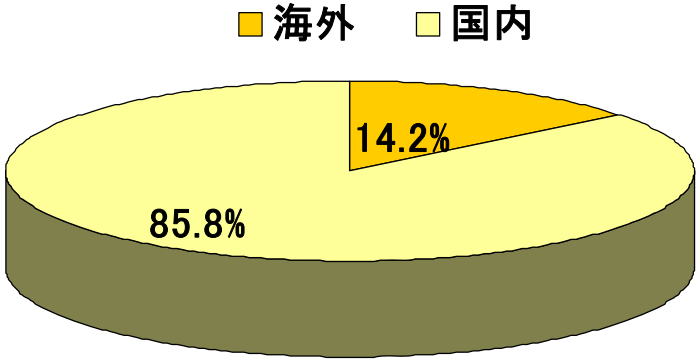
シンガポール・天津の アプリケーションセンター開発力強化

アジア市場への経営資源の投入

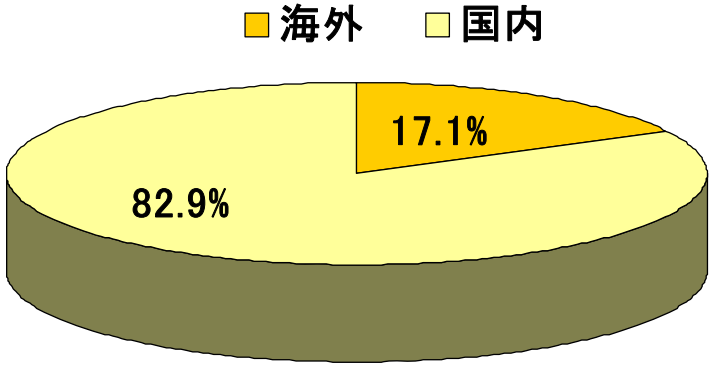
＜為替レート＞
中期計画策定時　US$＝￥100
今期設定　⇒　US$＝￥90

事業戦略の進捗状況(Ⅳ)　－　海外戦略の強化

’10/3期　海外売上高比率



’12/3期　海外売上高比率

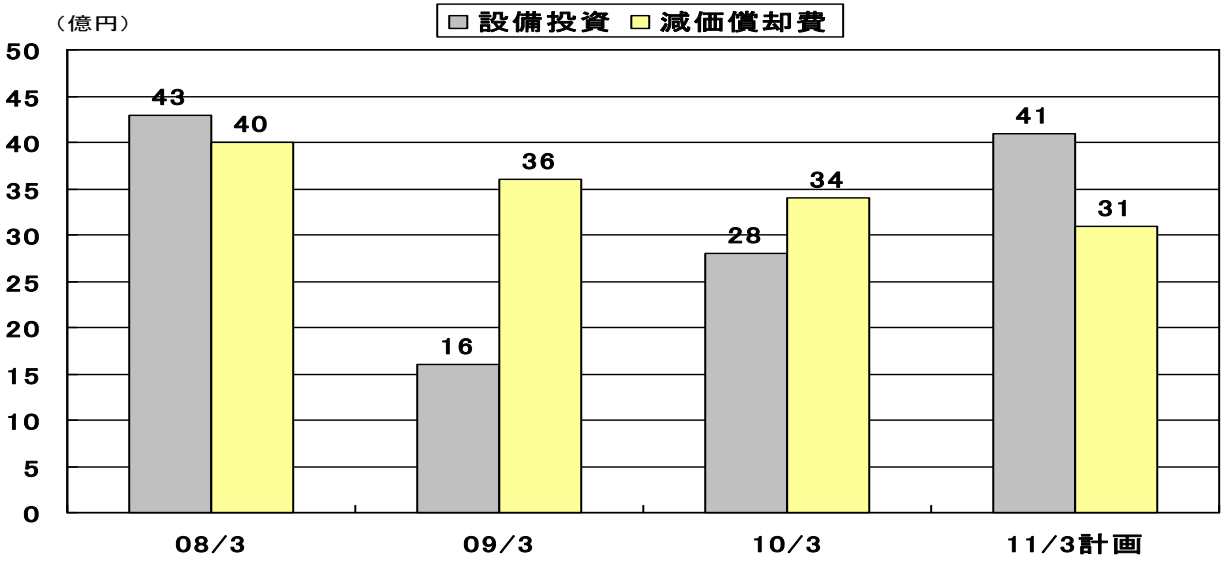


単位:億円

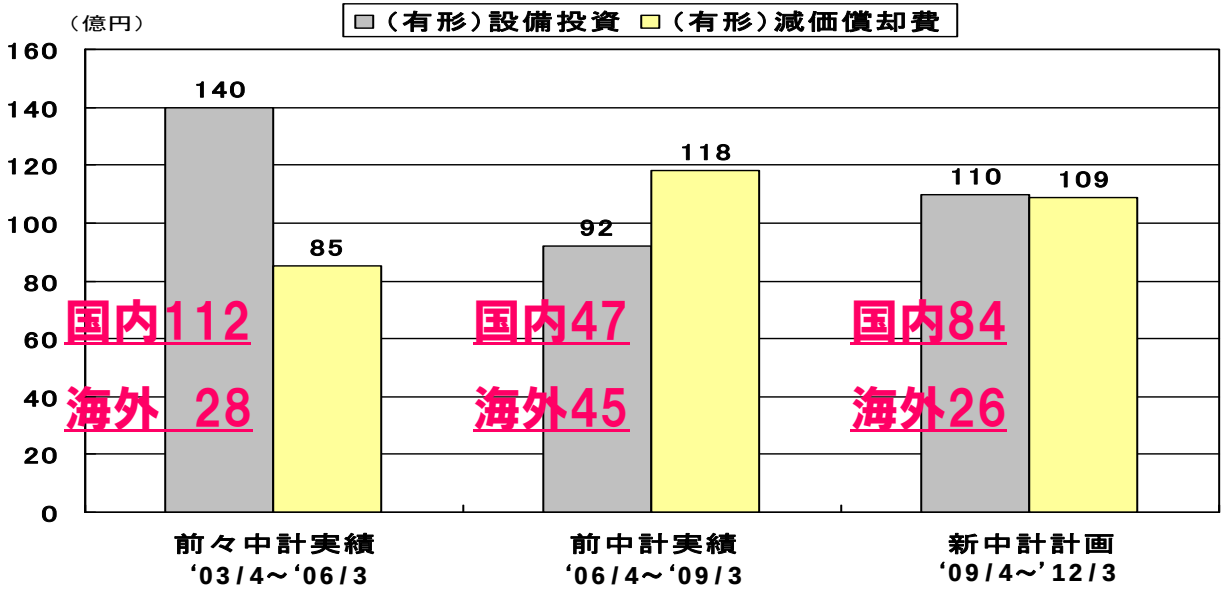
地域別	'08/3期 実績		'09/3期 実績		'10/3期 実績		'11/3期 目標		'12/3期 目標	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
欧 米	77	9.6%	66	8.4%	55	7.2%	70	8.7%	77	9.2%
アジア・その他	55	6.8%	54	7.0%	53	7.0%	60	7.5%	67	7.9%
海外・計	132	16.4%	121	15.4%	108	14.2%	130	16.2%	145	17.1%
国 内	675	83.6%	667	84.6%	657	85.8%	670	83.8%	705	82.9%
連結・合計	808	100.0%	789	100.0%	765	100.0%	800	100.0%	850	100.0%

設備投資および減価償却費

決算期別



中計期間別



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

お問い合せ先

経営企画部
毛塚、相原まで
TEL　03-5275-5835